

個体の成長 殻径・体重の測定結果及び成長率を5、6、7表と図-3に示した。

試験前期については 殻径で13.3～17.4%の伸びで、

モイストペレットのみ>スジアオノリ入りモイストペレット>微細藻補給モイストペレット
となっている。体重の伸びについても同様であり、結局試験前期の成長については、

モイストペレットのみ>スジアオノリ入りモイストペレット>微細藻補給モイストペレット
の関係がみられる。

後期の成長については 殻径では6.6～9.3%の範囲にあるが、前期の順位とは逆の関係になっ
ている。

微細藻補給モイストペレット>スジアオノリモイストペレット>モイストペレットのみ
体重についてはスジアオノリ入りモイストペレット給餌区が最も大きい、試験区間に明瞭な差
はなく、ほぼ同等である。

前期の成長率は 後期に比較して大きく、殻径及び体重とも約2倍の伸び率となっている。

全試験期間(75日)の成長については

	25.1	23.9	23.8
TDモイストペレットのみ	>	微細藻補給モイストペレット	≧スジアオノリ入りモイストペレット
BW	94.8	81.1	76.1
	"	>	スジアオノリ入りモイストペレット
			≧ 微細藻補給モイストペレット

※ 個体の成長 $\frac{\text{モイストペレットのみの伸率} + \text{スジアオノリ入りモイストペレットの伸率} + \text{微細藻補給モイストペレットの伸率}}{2}$

モイストペレットのみの伸率が大きく、スジアオノリ入りモイストペレットと微細藻補給モイストペレット給餌区はほぼ同等である。

5表 測定結果(殻径・体重)

試験区		7.30	9.10	10.16
モイストペレットのみ	個体数	20	20	10
	殻径(mm)	63.0±3.7	74.1±6.5	73.7±7.1
	体重(g)	92.2±18.6	146.1±37.4	144.5±41.9
スジアオノリ入りモイストペレット	個体数	20	18	8
	殻径(mm)	62.3±3.3	72.5±6.0	74.4±6.4
	体重(g)	89.8±17.4	134.6±32.1	147.5±38.4
モイストペレット(+微細藻)	個体数	20	19	10
	殻径(mm)	63.9±3.5	73.1±5.7	72.0±6.4
	体重(g)	98.0±16.0	145.8±33.9	139.7±37.4

6表 殻径・体重の伸率 (%-100)

試 験 区	7.30 → 9.10		9.10 → 10.16		7.30 → 10.16	
	平均値	$\Sigma(V)^2$	平均値	$\Sigma(V)^2$	平均値	
モイストペレットのみ	個体数	20	10		20	10
	殻 径	17.4	325.8	6.6	16.6	25.1
	体 重	57.7	6,190.1	23.5	810.6	94.8
スジアオノリ入りモイストペレット	個体数	18	8	18	8	
	殻 径	15.5	241.7	7.3	17.5	23.8
	体 重	45.5	6,196.2	24.5	1,393.0	81.1
モイストペレット (+) 微細藻	個体数	19	10	19	10	
	殻 径	13.3	307.0	9.3	37.8	23.9
	体 重	44.6	5,348.3	21.8	1,023.0	76.0

7表 成長率についての検定

餌 料 種 類 別	前 期 (41日間飼育)		後 期 (35日間飼育)	
	殻 径	体 重	殻 径	体 重
モイストペレット / スジアオノリ入り のみ / モイストペレット	1.9 < 2.2 (36, 0.10)	12.2 < 10.2 (36, 0.10)	0.7 < 1.2 (16, 0.10)	1.0 < 9.7 (16, 0.10)
モイストペレット (+) 微 細 藻	4.1 > 3.6 (37, 0.01)	13.1 > 11.5 (37, 0.05)	2.7 > 2.2 (18, 0.01)	1.7 < 7.8 (18, 0.10)
スジアオノリ入り モイストペレット /	2.2 = 2.2 (35, 0.10)	0.9 < 10.1 (35, 0.10)	2.0 > 1.9 (16, 0.05)	2.7 < 10.2 (16, 0.10)

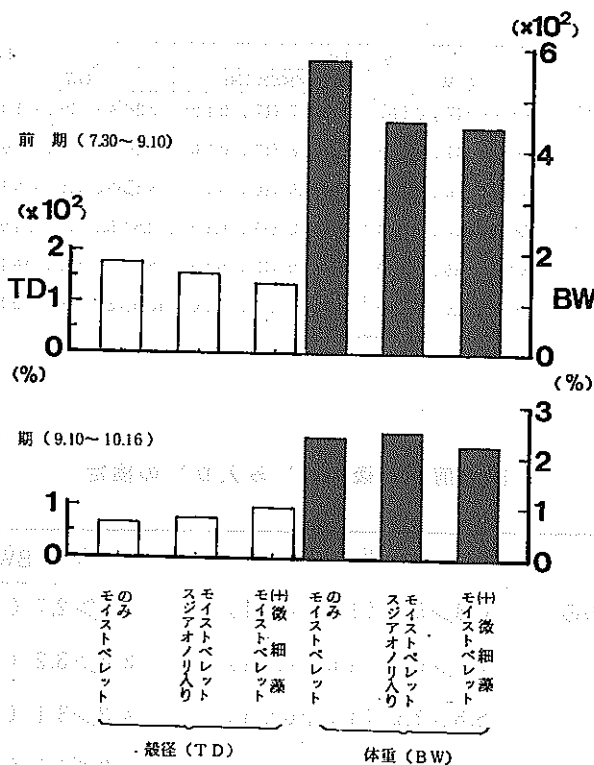


図 - 3 殻径・体重の伸率